

# エコアクション21 環境活動レポート

(対象期間：平成30年7月～令和元年6月)  
－ 第5版 －



熊本地震により  
上流の崩壊で溜まった  
土砂を留めることで  
  
地域住民の  
生命財産を守る



三王谷川1他28年災害関連緊急砂防(堰堤工)工事 他合併

※着工前写真

[発行日]

令和元年8月9日



**MITSUWA**  
CONSTRUCTION COMPANY  
三和建設株式会社

[本社] 熊本県人吉市五日町26-5

TEL 0966-24-6151

FAX 0966-38-1739

[事業本部] 熊本県球磨郡錦町西3542-55

TEL 0966-38-0088

FAX 0966-38-1739

## 目 次

1.会社概要 .....	1
2.環境方針 .....	2
3.実施体制組織図	
3-1.組織図 .....	3
3-2.各部署の役割と責任 .....	3
4.環境目標 .....	4
5.環境目標の実績 .....	5～8
6.環境活動の取組み計画と評価・次年度の取組み .....	9
7.環境に配慮した施工の主な活動内容 .....	10
8.主な取組み内容 .....	11
9.環境関連法規への遵守状況及び違反・訴訟等の有無.....	12
10.代表者による全体の評価と見直し.....	13

## 1.会社概要

### 1)名称及び代表者名

三和建設株式会社

代表取締役 小崎 誠吾

### 2)所在地

本社 〒868-0035 熊本県人吉市五日町26-5

事業本部 〒868-0303 熊本県球磨郡錦町西3542-55

### 3)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 経営企画部 副部長 尾曲 幸輔

担当者 経営企画部 石川 明美

連絡先 TEL:0966-38-0088 FAX:0966-38-1739

### 4)事業内容

特定建設業 ① 許可番号 熊本県知事許可(特-27)第299号

許可種類 土木工事業 建築工事業

とび・土工工事業 管工事業

鋼構造物工事業 ほ装工事業

しゅんせつ工事業 造園工事業

水道施設工事業

② 許可番号 熊本県知事許可(特-28)第299号

許可種類 解体工事業

### 5)事業規模

資本金 3,500 万円

従業員数 52 名 (令和元年6月30日現在)

事業延べ床面積 1142.83 m<sup>2</sup>

### 6)事業年度

期首 7月1日 ~ 期末 6月30日

### 7)事業実績

※記載されている年度は期末年度となります。

実績内容	単位	平成29年度 自 H28.07 至 H29.06	平成30年度 自 H29.07 至 H30.06	令和元年 自 H30.07 至 R01.06
工事等の件数	件	32	35	34
完成工事高	百万円	1,606	1,278	2,482

### 8)認証登録範囲

三和建設の全組織、全活動を認証登録範囲とする。

## 2.環境方針

### 【基本理念】

三和建設株式会社は、三方良しの理念に基づき、地域の環境保全ひいてはその地道な取り組みが地球環境保全につながることを認識し、日々の活動において、自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

### 【基本方針】

1)環境負荷の低減を図るために次のことに取り組みます。

- ① 電力・自動車及び重機の燃料使用量の削減を図り、二酸化炭素排出量削減に取り組む。
- ② 事業活動により排出される産業廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)に取り組む。
- ③ 総排水量削減(節水)に取り組む。
- ④ 環境に配慮した商品・資材のグリーン購入に取り組む。
- ⑤ 地域清掃等を行い、環境保全活動へ積極的に取り組む。

2)環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3)環境方針は、全従業員に周知徹底すると共に、社外へ公開します。

制定日 平成27年12月1日

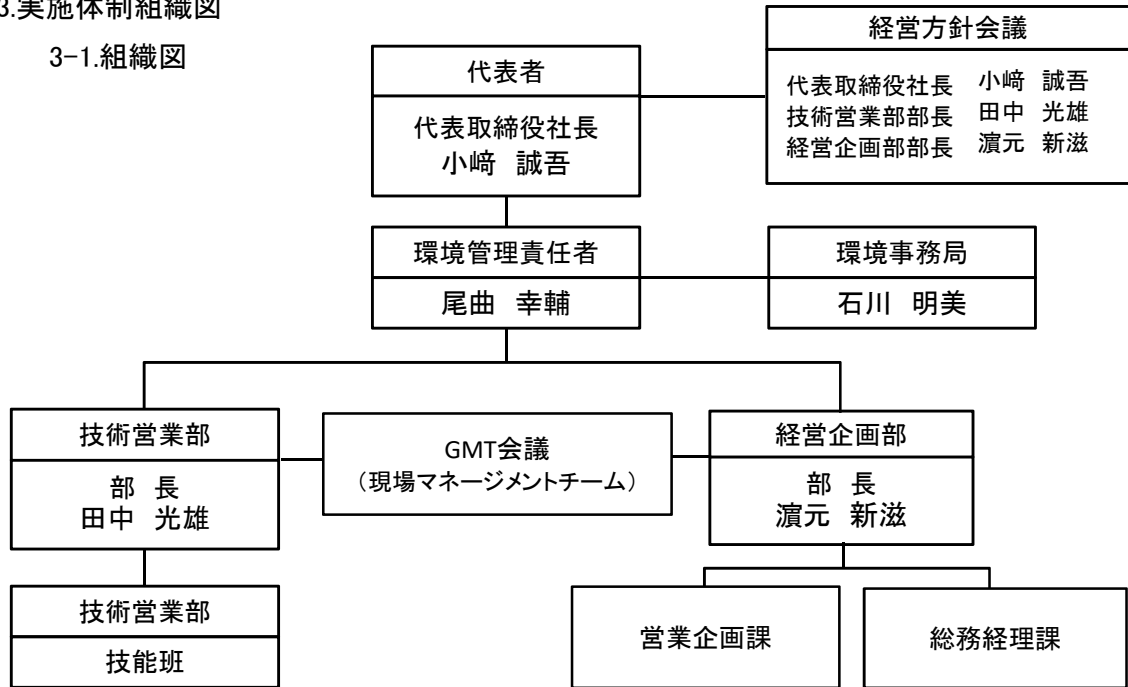
改訂日 平成30年7月25日

三和建設株式会社

代表取締役社長 小崎 誠吾

### 3.実施体制組織図

#### 3-1.組織図



#### 3-2.各部署の役割と責任

代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を指名する。</li> <li>環境方針を定め、表明する。</li> <li>環境経営システムの評価と見直しを行い、改善を指示する。</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備する。</li> </ul>	
経営方針会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムが継続して適切に実行され、妥当であり効果的であることを確実にするため開催する。</li> </ul>	
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理をする。</li> <li>環境目標・環境活動計画書を策定する。</li> <li>環境活動レポートの確認をする。</li> <li>環境経営システムの実績を代表者に報告する。</li> <li>環境への取組みの自己チェックを実施する。</li> </ul>	
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動レポートの作成をする。</li> <li>資料・書類を取り纏め、作成する。</li> </ul>	
技術営業部	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境目標と環境活動計画を実施し、達成状況の報告をする。</li> <li>マニフェスト伝票を発行し、データの入力をする。</li> <li>環境方針の理解と取組みの重要性を自覚する。</li> </ul>	
経営企画部	営業企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境目標と環境活動計画を実施し、達成状況の報告をする。</li> <li>マニフェスト伝票の集計と管理をする。</li> <li>環境負荷の自己チェックを実施する。</li> <li>環境方針の理解と取組みの重要性を自覚する。</li> </ul>
	総務経理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境目標と環境活動計画を実施し、達成状況の報告をする。</li> <li>水道光熱使用量の集計・燃料使用量の集計をする。</li> <li>環境方針の理解と取組みの重要性を自覚する。</li> </ul>
GMT会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>向上心を持ち、助け合いながら知恵を出し合い、エンパワメント文化を浸透させる。</li> <li>しっかり議論し、結論を出し、PDCAを回し続け、環境経営システムに参加する。</li> </ul>	

#### 4.環境目標

活動期間：平成29年7月～平成30年6月

※記載されている年度は期末年度となります。

項目	年度	単位	基準年度	目標			
			平成30年度 自 H29.07 至 H30.06	令和元年度 自 H30.07 至 R01.06	令和02年度 自 R01.07 至 R02.06	令和03年度 自 R02.07 至 R03.06	
本社・事業本部	電気使用量	購入電力	KWh	22,270.00	22,047.30	21,824.60	21,824.60
			kg-Co2	9,754.27	9,656.73	9,559.18	9,559.18
	燃料使用量	ガソリン	ℓ	9,903.57	9,804.53	9,705.50	9,705.50
			kg-Co2	22,992.73	22,762.80	22,532.88	22,532.88
		灯油	ℓ	385.00	381.15	377.3	377.3
			kg-Co2	959.39	949.80	940.20	940.20
	プロパンガス使用量	Kg	12.44	12.32	12.19	12.19	
		kg-Co2	37.33	36.96	36.58	36.58	
	二酸化炭素排出量	kg-Co2	33,743.72	33,406.29	33,068.84	33,068.84	
	節水への取組状況	m <sup>3</sup>	578.00	572.22	566.44	566.44	
グリーン購入への取組状況 <small>アスクル全体の事務用品購入金額+コピー用紙購入金額 に対するグリーン商品購入金額+コピー用紙購入金額 の割合</small>	%	57.40%	58.40%	59.40%	59.40%		
現場	電気使用量	購入電力	KWh	29,841.00	29,542.59	29,244.18	29,244.18
			kg-Co2	13,070.36	12,939.66	12,808.95	12,808.95
	燃料使用量	ガソリン	ℓ	46,392.88	45,928.95	45,465.02	45,465.02
			kg-Co2	107,708.48	106,631.40	105,554.31	105,554.31
		軽油	ℓ	93,634.97	92,698.62	91,762.27	91,762.27
			kg-Co2	245,729.99	243,272.69	240,815.39	240,815.39
	灯油	ℓ	1,360.00	1346.40	1332.80	1332.80	
		kg-Co2	3,389.02	3355.13	3321.24	3321.24	
	二酸化炭素排出量	kg-Co2	369,897.85	366,198.88	362,499.89	362,499.89	
	環境に配慮した施工	-	-	技術的、経済的に可能な環境配慮型施工			
産業廃棄物のリサイクル推進	-	-	再資源化 97.5%	再資源化 97.5%	再資源化 97.5%		
全体	二酸化炭素排出量 総合計	kg-Co2	403,641.57	399,605.17	395,568.73	395,568.73	
	地域貢献活動(7~6月予定) (会計年度単位の活動回数)	回	5	5	5	5	

※ 環境活動期間 7月1日～6月30日/年度となります。

※ 基準年度 電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力 平成29年度 0.438 を使用しております。

※ 基準年度を平成30年度に変更

※ 前年度実績が0の場合、過去2年分の平均値を目標値とする

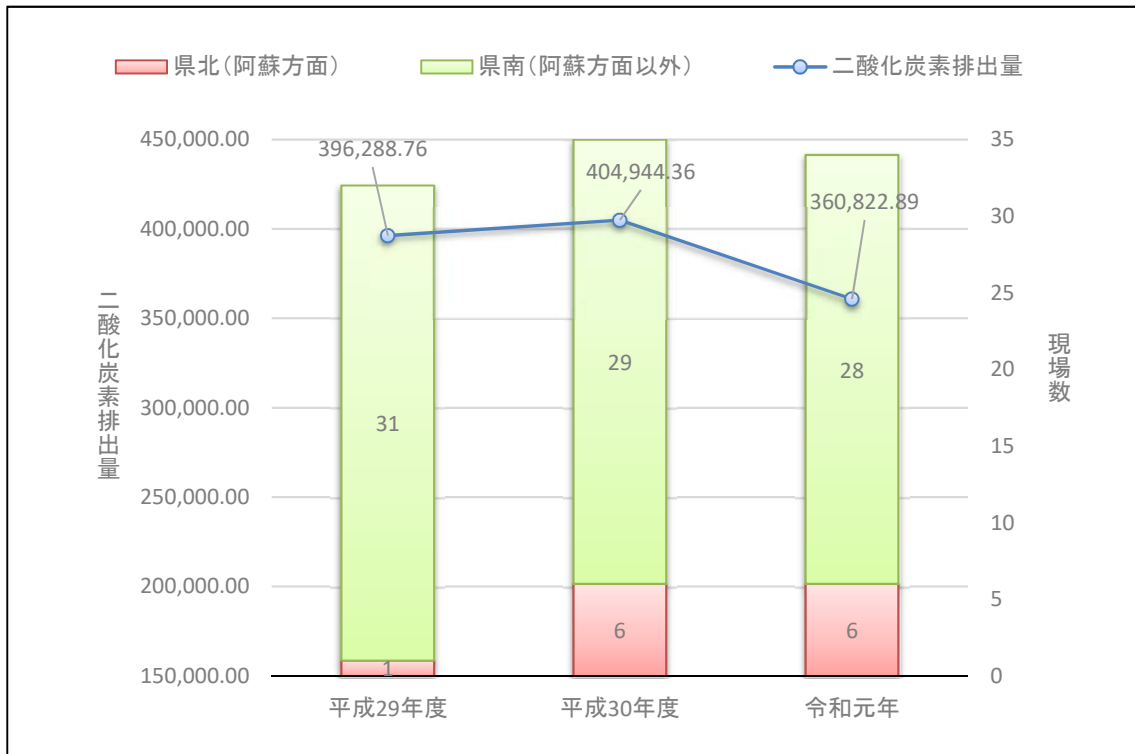
## 5.環境目標の実績

活動期間：平成30年7月～令和元年6月

※記載されている年度は期末年度となります。

項目		年度 単位	実績基準	目標	実績	使用量 目標達成率 (%)	
			平成30年度 自 H29.07 至 H30.06	令和元年度 自 H30.07 至 R01.06	令和元年度 自 H30.07 至 R01.06		
本社・事業本部	電気使用量	購入電力	KWh	22,270.00	22,047.30	20,838.00	105.8%
			kg-Co2	9,754.27	9,656.73	6,647.34	
	燃料使用量	ガソリン	ℓ	9,903.57	9,804.53	8,052.42	121.8%
			kg-Co2	22,992.73	22,762.80	18,681.62	
		灯油	ℓ	385.00	381.15	58.00	100%以上
			kg-Co2	959.39	949.80	144.42	
	プロパンガス使用量	Kg	12.44	12.32	0.22	100%以上	
		kg-Co2	37.33	36.96	0.65		
	二酸化炭素排出量	kg-Co2	33,743.72	33,406.29	25,474.03	131.1%	
	節水への取組状況	m <sup>3</sup>	578.00	572.22	569.00	100.6%	
グリーン購入への取組状況	%	57.40%	58.4%	48.0%	82.2%		
グリーン購入への取組状況		アスカル全体の事務用品購入金額・コピー用紙購入金額 に対するグリーン商品購入金額・コピー用紙購入金額 の割合		基準年度の +1%			
現場	電気使用量	購入電力	KWh	29,841.00	29,542.59	88,469.00	33.4%
			kg-Co2	13,070.36	12,939.66	28,221.63	
	燃料使用量	ガソリン	ℓ	46,392.88	45,928.95	50,070.52	91.7%
			kg-Co2	107,708.48	106,631.40	116,163.60	
		軽油	ℓ	93,634.97	92,698.62	72,335.93	128.2%
			kg-Co2	245,729.99	243,272.69	186,626.69	
		灯油	ℓ	1,360.00	1,346.40	1,741.75	77.3%
			kg-Co2	3,389.02	3,355.13	4,336.96	
	二酸化炭素排出量	kg-Co2	369,897.85	366,198.88	335,348.88	109.2%	
	環境に配慮した施工	-	-	環境に配慮した施工を実施 (「7.環境に配慮した施工の主な活動内容」を参照)			
産業廃棄物のリサイクル推進	-	-	再資源化 97.50%	再資源化 98.96%	101.50%		
全体	二酸化炭素排出量 総合計	kg-Co2	403,641.57	399,605.17	360,822.91	110.7%	
	地域貢献活動(7~6月予定) (会計年度単位の活動回数)	回	5	5	7	140.0%	

## 二酸化炭素排出量(現場数との関係)



※記載されている年度は期末年度となります。

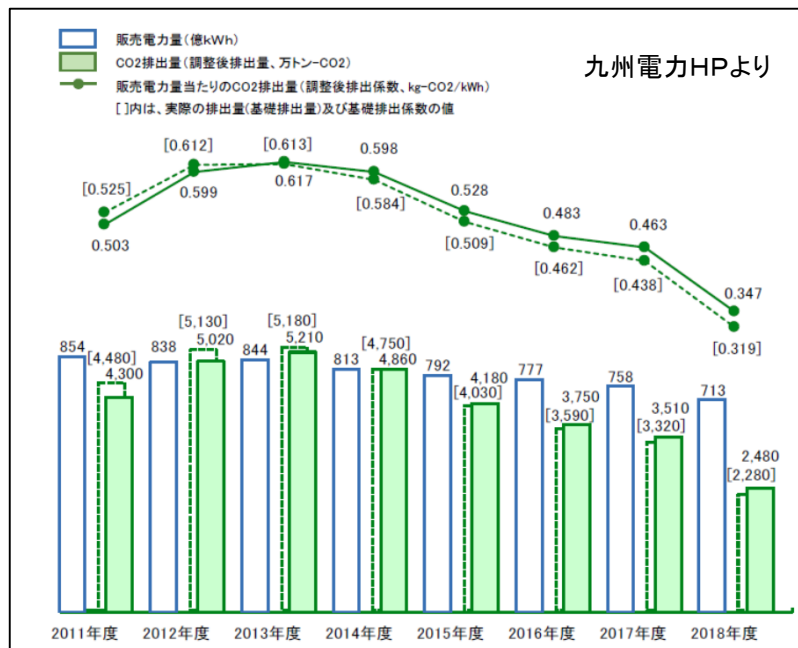
### 【二酸化炭素排出量が削減された要因】

①九州電力の実排出量及びCO2排出係数は

平成30年度 平成29年度の0.438

令和元年度 平成30年度の0.319 を使用している。

係数差



②1現場の差ではあるが、現場数が減少している。

(平成30年度と令和元年の阿蘇現場数に変化はない。)

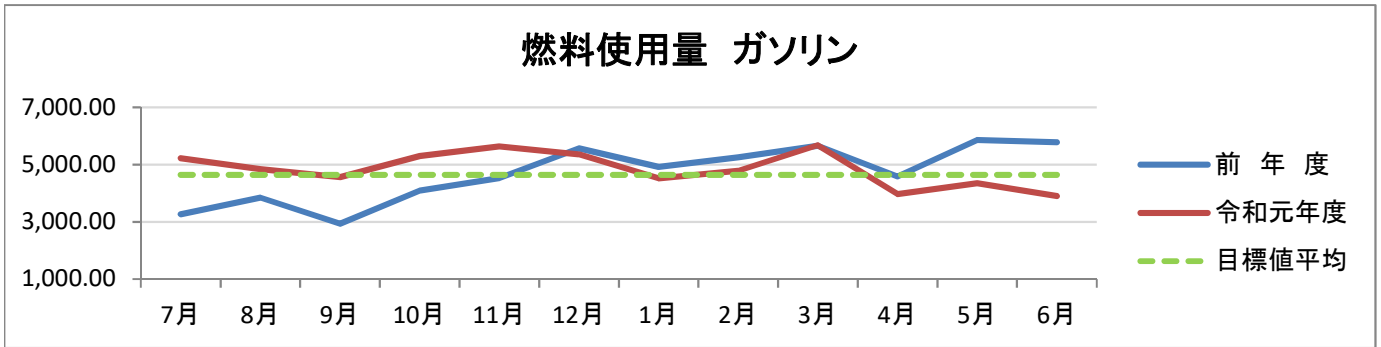


# エコアクション21 取組み結果の報告(全体)

令和元年度(会計期間 平成30年7月1日～令和元年6月30日)

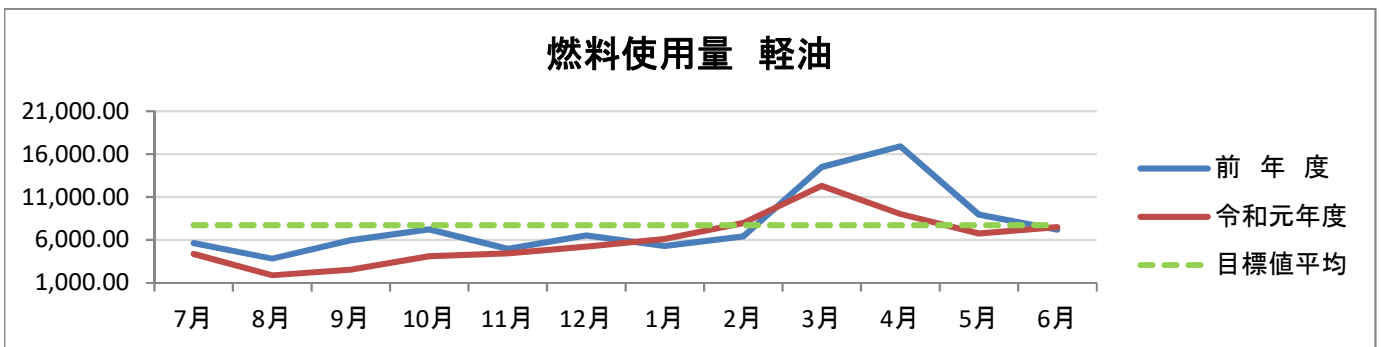
## 【燃料使用量 ガソリン】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	3,268.82	3,843.56	2,934.85	4,089.70	4,524.96	5,564.36	4,920.93	5,258.17	5,658.58	4,588.49	5,863.20	5,780.83
令和元年度	5,226.45	4,840.92	4,559.14	5,305.87	5,635.31	5,357.11	4,516.13	4,786.43	5,679.90	3,964.86	4,348.06	3,902.76
目標値平均	4,644.46	4,644.46	4,644.46	4,644.46	4,644.46	4,644.46	4,644.46	4,644.46	4,644.46	4,644.46	4,644.46	4,644.46



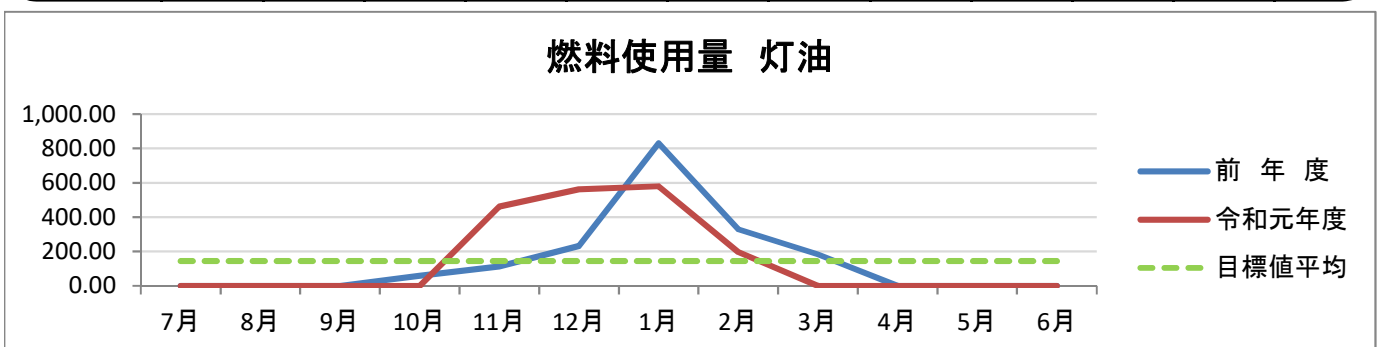
## 【燃料使用量 軽油】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	5,659.47	3,839.10	5,972.05	7,263.19	4,987.62	6,544.19	5,309.14	6,427.92	14,526.27	16,930.38	8,968.25	7,207.39
令和元年度	4,378.45	1,892.89	2,536.40	4,128.09	4,450.22	5,244.40	6,138.64	7,987.30	12,300.59	9,032.19	6,755.20	7,491.56
目標値平均	7,724.89	7,724.89	7,724.89	7,724.89	7,724.89	7,724.89	7,724.89	7,724.89	7,724.89	7,724.89	7,724.89	7,724.89



## 【燃料使用量 灯油】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	0.00	0.00	0.00	58.00	112.00	232.00	830.00	330.00	183.00	0.00	0.00	0.00
令和元年度	0.00	0.00	0.00	0.00	462.00	561.75	580.00	196.00	0.00	0.00	0.00	0.00
目標値平均	143.96	143.96	143.96	143.96	143.96	143.96	143.96	143.96	143.96	143.96	143.96	143.96



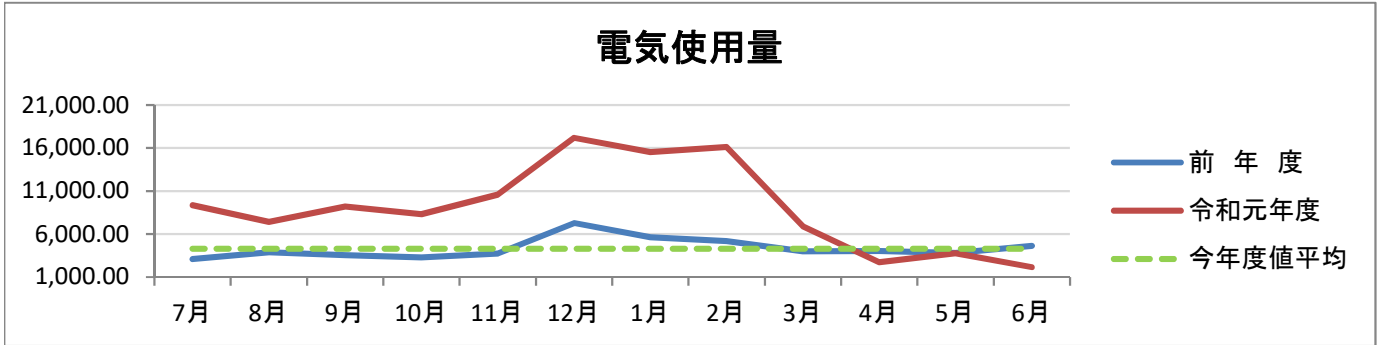
# エコアクション21 取組み結果の報告(全体)

令和元年度(会計期間 平成30年7月1日～令和元年6月30日)

## 【電気使用量】

単位:kWh

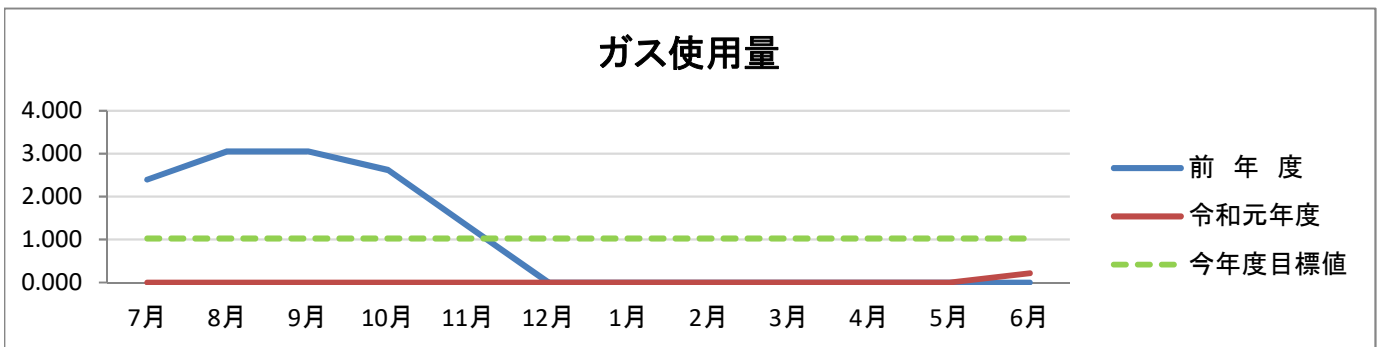
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	3,095.00	3,887.00	3,565.00	3,299.00	3,720.00	7,282.00	5,619.00	5,182.00	3,986.00	4,029.00	3,815.00	4,632.00
令和元年度	9,362.00	7,428.00	9,225.00	8,310.00	10,572.00	17,196.00	15,533.00	16,132.00	6,885.00	2,740.00	3,770.00	2,154.00
今年度値平均	4,299.16	4,299.16	4,299.16	4,299.16	4,299.16	4,299.16	4,299.16	4,299.16	4,299.16	4,299.16	4,299.16	4,299.16



## 【ガス使用量】

単位:kg

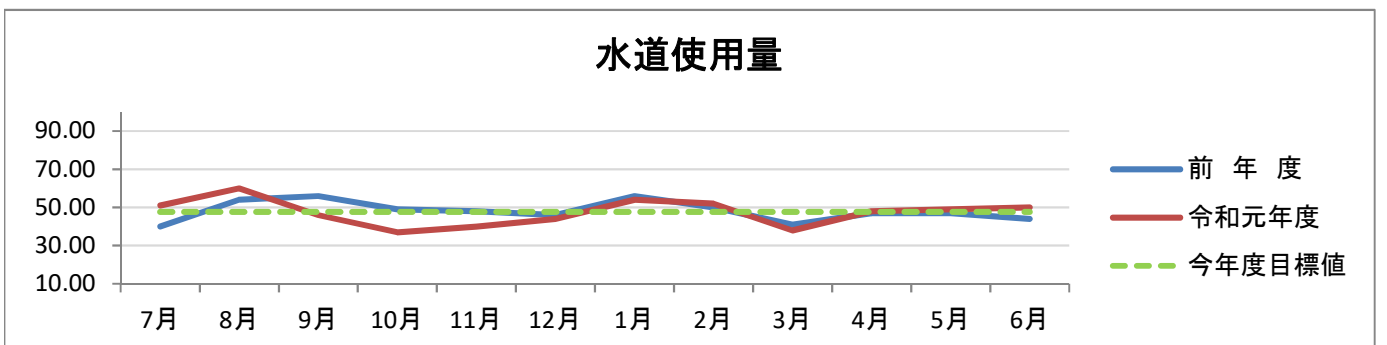
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	2.400	3.056	3.056	2.620	1.310	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
令和元年度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.218
今年度目標値	1.027	1.027	1.027	1.027	1.027	1.027	1.027	1.027	1.027	1.027	1.027	1.027



## 【水道使用量】

単位:m3

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	40.00	54.00	56.00	49.00	48.00	46.00	56.00	50.00	41.00	47.00	47.00	44.00
令和元年度	51.00	60.00	46.00	37.00	40.00	44.00	54.00	52.00	38.00	48.00	49.00	50.00
今年度目標値	47.69	47.69	47.69	47.69	47.69	47.69	47.69	47.69	47.69	47.69	47.69	47.69



6.環境活動の取組み計画と評価・次年度の取組み

評価実施日：令和元年7月28日

具体的な活動		活動期間：平成30年7月～令和元年6月	
		取組判定	評価と次年度の取組み
本社・事業本部	【省エネ】		照明関係は、こまめに消灯し、間引きOFFも習慣化されてきたが、エアコンの消し忘れが年に数回程度見られた。退社時の施錠、消灯チェック方法を検討し、「環境活動計画」に反映させる。
	使用時以外のトイレ・会議室の消灯	○	
	エアコンのフィルター清掃を年2回実施(5月 11月)	△	
	退社時のディスプレイの電源OFF	○	
	退社時のエアコンの電源OFF	△	
	【省資源】		遠距離走行する際は、乗り合わせや同じルートで用件が発生した場合は、代表して1名が対応するなど工夫を施した。今後もコミュニケーションを強化させ、連携をとりながら、活動を広めていく。
	急発進・急加速・急ブレーキの禁止	○	
	車両整備の励行(随時)	○	
	不要物の積載はしない	○	
	【節水】		水使用量削減の周知徹底は継続されているが、水量調整ホースの導入や雨水の利用など更なる取組みを工夫する必要がある。
節水シール・ポスターによる周知	○		
水の出しっぱなしをしない	○		
【グリーン購入】		「事務用品以外の推進」の検討は先に見送り、事務用品グリーン商品をリストアップし、推進の強化を図る。	
事務用品グリーン商品の推進	○		
現場	【省エネ】		年々、夏場の温度が高温化し、「熱中症発症」の危険性が高くなっていく中で、予防対策に力を入れて、職場環境を整える必要がある。
	不在時、昼休みの消灯	○	
	エアコン使用時の室内温度の管理	△	
	【省資源】		エコドライブ10か条を掲示板に貼付し、朝礼や工事打合せ時の教育の一貫として広めていく。加えて走行中の速度管理も視野に入れて考えていきたい。
	重機・車両のアイドリングストップ	○	
	急発進・急加速・急ブレーキの禁止	○	
	不要物の積載はしない	○	
	車両整備の励行(随時)	○	
	【産業廃棄物】		マニフェスト伝票は、5年間保管を継続中であり、分別の周知徹底を強化しながら、再資源化目標値達成を次年度も目指す。
	マニフェスト伝票・産廃契約書の管理	○	
リサイクル・再生資源化の推進	○		
【工事における環境配慮】		引き続き活動を行っていく。	
環境に配慮した施工	○		
【地域の環境貢献】		GMT会議により、各現場の地域性を把握し、地域貢献活動を計画しながら、実行を継続していく。	
年5回以上のボランティア活動の実施			

※評価基準：「達成できた」→○ 「ほぼ達成できた」→△ 「達成できていない」→×

【総評】

今期は、前期と比較して2倍近い完成工事高となりました。

例年並みの猛暑が続き、熱中症対策として、現場での電気使用量は大幅に増加しましたが、九州電力の実排出量及びCO2排出係数の低下と化石燃料を含む協力会社(下請)との契約が増えたことにより、二酸化炭素総排出量は減少に転じました。次年度は様々な角度からの分析方法を考え、誰が見ても「わかりやすい」レポートに仕上がるよう研究します。

## 7.環境に配慮した施工の主な活動内容

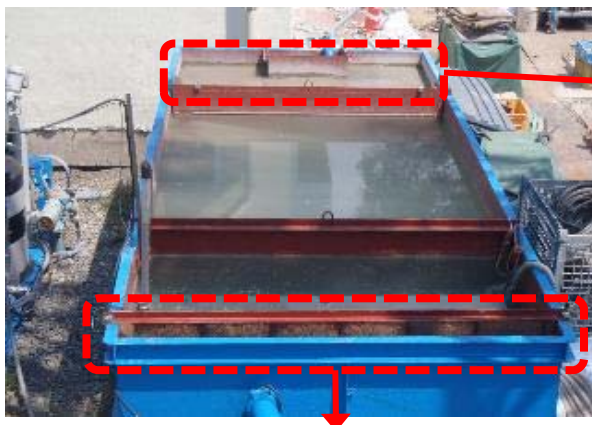
### ◆◆◆ 濁水低減装置の設置と濁水水質管理 ◆◆◆

コンクリート削孔後の廃水を排水基準(県条例)に基づき、Ph濃度が6.5~8.5になるまで中和させ、更にバイオログフィルター(天然ヤシ繊維から作られた環境にやさしい濁水ろ過フィルター)を活用し、ろ過・浄化した処理水を河川に放流。自然環境を守る濁水対策に最適な工法を採用した。

水質汚濁防止法に基づく排水基準(県条例)

浮遊物質(SS)	水素イオン濃度(Ph)	備考
25mg/ℓ	6.5~8.5	SSは濁度からの換算

【上から見た状況写真】



施工場所からポンプで吸い上げた削孔水



バイオログフィルター

【横から見た状況写真】



県条例の廃水基準に基づきPh濃度を日々管理している

濁水管理日報		2018年(7月度)																					
日	曜日	作業時間 当日(時)	SS値:10時測定		PH:10時測定		原水量 (m <sup>3</sup> ・日)		薬品使用量 (kg)						濁水の処理量		備考						
			原水(SS)	処理水(SS)	原水(PH)	処理水(PH)	当日(m <sup>3</sup> )	積算(m <sup>3</sup> )	PAC(調整量)150.0		減分(調整量)3.0		調整剤(調整量)6.0		PH	汚濁処理量							
1	日																						
2	(月)																						
3	(火)	8.0	6.0	250	20	9.7	6.9	80.0	80.0	9.00	9.0	200.0	200.0	0.180	0.18	10.00	10.0	0.28	0.3	120.0	120		
4	(水)	5.0	11.0	250	22	9.7	7.0	50.0	110.0	7.50	16.5			0.150	0.33			0.22	0.5			0.04	0.04
5	(木)	5.0	16.0	250	22	9.7	7.1	50.0	160.0	7.50	24.0			0.150	0.48			0.22	0.7			0.03	0.10
6	(金)	8.0	22.0	250	21	9.8	7.1	80.0	220.0	9.00	33.0			0.180	0.88			0.21	0.9			0.04	0.14
7	(土)	5.0	27.0	250	20	9.8	7.1	50.0	270.0	7.50	40.5			0.150	0.81			0.17	1.1			0.03	0.17

## 8.主な取組み内容

### ◆◆◆ GMT会議(現場マネジメントチーム)の開催 ◆◆◆

平成30年7月より、社員の中からGMTメンバーを結成。アドバイザーとして労働安全コンサルタントに参加して頂き、全社員、エンパワメント文化を浸透させる目的で様々な議題をPDCAを回しながら、経営に参加していくシステムである。



第 4 回 GMT定例ミーティング議事録		日時
開催者	中野 浩一(代表)、佐藤 隆夫(部長)、佐藤 浩一(部長)	2018年7月24日(水)
開催日	開催日、会場	10:00 ~ 12:00
【今回の議題】		
議題 1	現場改善推進について	
議題 2	現場改善推進の進捗について	
議題 3	現場改善推進の進捗について	
議題 4	現場改善推進の進捗について	
議題 5	現場改善推進の進捗について	
議題 6	現場改善推進の進捗について	
議題 7	現場改善推進の進捗について	
議題 8	現場改善推進の進捗について	
議題 9	現場改善推進の進捗について	
議題 10	現場改善推進の進捗について	
議題 11	現場改善推進の進捗について	
議題 12	現場改善推進の進捗について	
議題 13	現場改善推進の進捗について	
議題 14	現場改善推進の進捗について	
議題 15	現場改善推進の進捗について	
議題 16	現場改善推進の進捗について	
議題 17	現場改善推進の進捗について	
議題 18	現場改善推進の進捗について	
議題 19	現場改善推進の進捗について	
議題 20	現場改善推進の進捗について	
議題 21	現場改善推進の進捗について	
議題 22	現場改善推進の進捗について	
議題 23	現場改善推進の進捗について	
議題 24	現場改善推進の進捗について	
議題 25	現場改善推進の進捗について	
議題 26	現場改善推進の進捗について	
議題 27	現場改善推進の進捗について	
議題 28	現場改善推進の進捗について	
議題 29	現場改善推進の進捗について	
議題 30	現場改善推進の進捗について	
議題 31	現場改善推進の進捗について	
議題 32	現場改善推進の進捗について	
議題 33	現場改善推進の進捗について	
議題 34	現場改善推進の進捗について	
議題 35	現場改善推進の進捗について	
議題 36	現場改善推進の進捗について	
議題 37	現場改善推進の進捗について	
議題 38	現場改善推進の進捗について	
議題 39	現場改善推進の進捗について	
議題 40	現場改善推進の進捗について	
議題 41	現場改善推進の進捗について	
議題 42	現場改善推進の進捗について	
議題 43	現場改善推進の進捗について	
議題 44	現場改善推進の進捗について	
議題 45	現場改善推進の進捗について	
議題 46	現場改善推進の進捗について	
議題 47	現場改善推進の進捗について	
議題 48	現場改善推進の進捗について	
議題 49	現場改善推進の進捗について	
議題 50	現場改善推進の進捗について	
議題 51	現場改善推進の進捗について	
議題 52	現場改善推進の進捗について	
議題 53	現場改善推進の進捗について	
議題 54	現場改善推進の進捗について	
議題 55	現場改善推進の進捗について	
議題 56	現場改善推進の進捗について	
議題 57	現場改善推進の進捗について	
議題 58	現場改善推進の進捗について	
議題 59	現場改善推進の進捗について	
議題 60	現場改善推進の進捗について	
議題 61	現場改善推進の進捗について	
議題 62	現場改善推進の進捗について	
議題 63	現場改善推進の進捗について	
議題 64	現場改善推進の進捗について	
議題 65	現場改善推進の進捗について	
議題 66	現場改善推進の進捗について	
議題 67	現場改善推進の進捗について	
議題 68	現場改善推進の進捗について	
議題 69	現場改善推進の進捗について	
議題 70	現場改善推進の進捗について	
議題 71	現場改善推進の進捗について	
議題 72	現場改善推進の進捗について	
議題 73	現場改善推進の進捗について	
議題 74	現場改善推進の進捗について	
議題 75	現場改善推進の進捗について	
議題 76	現場改善推進の進捗について	
議題 77	現場改善推進の進捗について	
議題 78	現場改善推進の進捗について	
議題 79	現場改善推進の進捗について	
議題 80	現場改善推進の進捗について	
議題 81	現場改善推進の進捗について	
議題 82	現場改善推進の進捗について	
議題 83	現場改善推進の進捗について	
議題 84	現場改善推進の進捗について	
議題 85	現場改善推進の進捗について	
議題 86	現場改善推進の進捗について	
議題 87	現場改善推進の進捗について	
議題 88	現場改善推進の進捗について	
議題 89	現場改善推進の進捗について	
議題 90	現場改善推進の進捗について	
議題 91	現場改善推進の進捗について	
議題 92	現場改善推進の進捗について	
議題 93	現場改善推進の進捗について	
議題 94	現場改善推進の進捗について	
議題 95	現場改善推進の進捗について	
議題 96	現場改善推進の進捗について	
議題 97	現場改善推進の進捗について	
議題 98	現場改善推進の進捗について	
議題 99	現場改善推進の進捗について	
議題 100	現場改善推進の進捗について	

週に1回開催され、その都度、議事録に残し、社員全員にグループウェアや社員会議にて、その内容を報告し、情報共有している。

### ◆◆◆ 地域住民とのコミュニケーション(地域への貢献) ◆◆◆



現場近隣の小学校向けに「防災インシエンショー」の開催



町内会の方々と協力し、市主催のマラソン大会の給水ポイントに参加



5S活動教育目的と地域の方々との交流を深めるために、各現場で清掃活動は継続中。



地域の方々とのコミュニケーションツールとして各現場ごとで「工事だより」を発行。

### 9.環境関連法規への遵守状況及び違反・訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

実施日 令和元年7月25日

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管分別・排出マニフェスト伝票の管理・交付状況報告提出	適正
労働安全衛生法	石綿等の除去作業	適正
再生資源利用省令	再資源利用計画書・実施書の作成 再資源利用促進計画書・実施書の作成	適正
指定副産物利用促進省令	再資源利用計画書・実施書の作成 再資源利用促進計画書・実施書の作成	適正
建設リサイクル法	発注者への計画等説明書と完了報告書 下請負者への告知書	該当なし
建設廃棄物適正処理マニュアル	マニフェストの基づく適正処理の実施	適正
建設副産物適正処理推進要綱	再資源利用計画書・実施書の作成 再資源利用促進計画書・実施書の作成	適正
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	建設汚泥の処理に当たりの基本方針 具体的実施手順・建設汚泥の再生利用の促進	該当なし
オフロード法	協力会社の持ち込み建設機械等の適合証明	適正
フロン排出抑制法	定期点検の実施 冷媒用フロンの回収・破壊の措置	適正
建築基準法	石綿含有建材の使用禁止	適正
騒音規制法	対象特定建設作業・特定施設の届出・規制値の遵守	適正
振動規制法	対象特定建設作業・特定施設の届出・規制値の遵守	該当なし
河川法	一日に50m <sup>3</sup> 以上の汚水を河川に排水	該当なし
六価クロム溶出試験実施要領	地盤改良における六価クロム溶出試験の実施	適正
消防法	少量危険物保管の貯蔵・取扱の基準	適正
学校環境衛生の基準	学校の工事におけるVOC(揮発性有機化合物)の測定	該当なし
作業所で同意するその他の要求事項	時間外作業の事前連絡・資材搬出入時の粉塵の発生防止とアイドリングストップの実行	適正
建設業の環境自主行動計画第5版	環境経営の充実に向けた活動の展開 施工段階におけるCO <sub>2</sub> の排出抑制 建設廃棄物・建設発生土の対策	適正

※ 適用される法規制等と遵守状況は、「環境関連法規等の遵守状況チェックリスト」に基づき記載しております。

## 10.代表者による全体の評価と見直し

昨年に引き続き、熊本震災等に対する復興事業を中心とした公共事業の受注増が見込まれる事で更に件数、年商共に増える見込みであると想定しているが、整理した数値が示す通り、我々の取組みである、環境負荷の低減努力は成果が出ていると考えています。一定の環境負荷を現出する企業として、今後も取組みを継続する所存です。

評価実施日 令和元年7月31日

三和建設株式会社

代表取締役社長 小崎 誠吾

### 環境経営方針の見直し

変更の必要性

有

無

### 環境経営目標及び環境経営計画の見直し

変更の必要性

有

無

### 実施体制の見直し

変更の必要性

有

無

現場マネジメントチームの発足(GMT会議の開催)